

# 学校給食会たより

第173号

平成26年7月22日



箱の中身はなんだろう??  
触感(食感?)がいいねー!!

## 目次

- |                    |     |                  |     |
|--------------------|-----|------------------|-----|
| ● 学校給食の力           | 2   | ● 学校栄養職員としてスタート! | 6・7 |
| ● 評議員となって          | 2   | ・「きゅうしょくの先生」になって |     |
| ● 平成26年 安全衛生講習会    | 3   | ・子どもたちに寄り添った給食を  |     |
| ● 公益財団法人長野県学校給食会役員 | 3   | ● 楽しい給食 おいしい給食   | 8   |
| ● 第9回食育推進全国大会      | 4・5 | ・給食委員会の今年度の取り組み  |     |
| ● おいしい給食研究会設立に寄せて  | 6・7 | ・ねぎ植えとお花見給食      |     |
|                    |     | ● 飯田事務所が移転します    | 8   |

編集・発行 公益財団法人 長野県学校給食会

〒381-0103 長野市若穂川田3800-5 TEL 026-282-6080 FAX 026-282-6535 E-mail info@nagk.or.jp

<http://www.nagk.or.jp/>



# 学校給食の力



公益財団法人長野県学校給食会 評議員  
長野県中学校長会長

藤松 伸二郎

○いつも栄養素や味、安全性などに気を配って下さっていてうれしいです。

○こんなにも私たちのことを考えて作ってくださっているとは思いませんでした。

○絶対に残さず食べきろうと思えました。  
これらは交流給食後の生徒の感想です。

本校では毎年、学校給食センターのご支援をいただき、生徒会給食委員会主催の交流給食を実施しています。食材の購入先であるJA、市内の業者、生産者グループ、個人生産者などの皆さん、そして、栄養士、調理員の皆さんなどを給食に招いて交流するのです。

交流給食では次のような過程を経て交流が深まるように工夫しています。

- ①係職員、生徒会役員、栄養教諭、生産者の代表の方などと事前打合せを行う。
- ②クラス紹介と質問を書き招待する方に届け、返事をいただく。
- ③事前に生徒に向けての自己紹介文を書いていただき、生徒に紹介しておく。
- ④当日、すべての学級で交流する。
- ⑤お礼文を書き参加者に届ける。

給食に係わる仕事に携わっておられる方々との交流を通して、いかに多くの方々から生かされているか気づいていきます。その気づきのお陰で、感謝の気持ちにまで思いを高めることができるのです。これもキャリア教育の一つと言えます。大切にしたいものです。

# 評議員となつて



公益財団法人長野県学校給食会 評議員  
元栄養教諭

田中 みつる

学校給食会にはこれまで現場の栄養士として、長年食材の提供、調理講習会等の研修、指導媒体の貸与等大変お世話になってきました。又退職後一年間は、地産地消を進める学校給食コーディネーターとして、地域食材の開発や流通等の相談にのっていただき、実践化に向けて取り組んでいただきました。

平成25年度から本会の評議員としてお世話になり、あらためて公益財団法人としての学校給食会の運営方針や事業内容を認識し、理事長さんをはじめ関係者の皆さんが、いかに子供たちの為にご努力、ご苦労をされているのかを痛感致しました。今まで給食会の理事、評議員に栄養士が入っておりませんでした。学校給食関係者との連携をより密にして、安心・安全な食材の供給、食育推進への支援、地場産物活用のための新たな商品開発等、児童生徒の心身の健全な発達により寄与したいとのことでした。

今年度から、県下4地区で実施予定の調理講習会への支援もいただけることになり、多くの皆さんの参加が望まれるところです。

給食現場を退いてしまったわけですが、倉庫の見学や受注、配送担当者のご苦労を目の当たりにし、忙しさにかまけてぎりぎりの発注やキャンセルをしていた私は担当者をずいぶん困らせたのではと今更ながら申し訳ない思いです。学校給食会は安心・安全な給食運営面でも、食育推進の面でも欠かせない「給食応援団」であり、評議員として、給食現場と本会との更なる連携、発展のために頑張りたいと考えております。



# 平成26年 安全衛生講習会



熱心に受講される参加者の皆さん

## \* 参加者の感想 \*

- 従業員全員に5Sを意識してもらいたいと強く思いました。
- あらためて安全衛生への意識が高まり、安全なおいしいパンを作りたいと思いました。
- クレームが起こるポイントを説明していただき大変参考になりました。
- 清掃計画表を作成し実施していくことはとても良い事だと感じました。全社員の安心・安全に対する感性のアップが必要と考えます。
- 私の所の工場もだいが古くなってきていますので、異物については毎日非常に気をつけています。今日お聞きしたことを肝に銘じて頑張りたいと思います。
- 使用した所を清掃していましたが、全体を計画的に行うことは良いと思いました。
- 清掃の意義を理解して作業する事が大事であるということがわかりました。
- 異物混入防止（食品の安全を守る）の基本について勉強になりました。
- 清掃とつしつけをより徹底してやっていくべきと自覚しました。

より良い「安全衛生講習会」を開催したいと考えます。

平成26年3月26日(水)、長野県学校給食会の主催で「平成26年安全衛生講習会」(会場：長野県総合教育センター)を開催しました。県下で学校給食の主食提供を担う委託加工工場を対象に毎年開いています。当日は、(社)日本パン技術研究所フードセイフティ部の小水峻氏をお招きし、「食品の安全を守る」ということと衛生管理のルールと清掃のスケジュール化」と題し、2時間余の講義・演習を通してご指導をいただきました。

委託加工工場からは昨年度を大幅に上回る66名の参加者(委託加工工場の参加率79%)があり、受講者はパワーポイントで「食品安全管理のポイント」の話や異物事故等の具体的な映像により異物混入対策等の研修を深めました。また、長野県教育委員会保健厚生課の藤井課長補佐兼係長には、資料「学校給食における食中毒の発生予防等について」をもとに、県下の食中毒発生の現状や学校給食の提供で特に注意したい点等について貴重なご指導をいただきました。今後は、当日のアンケート等から拾った参加者の声を生かし、



日本パン技術研究所  
小水 峻氏



長野県教育委員会保健厚生課  
藤井 仁史氏

## 公益財団法人長野県学校給食会役員

	氏名	選出区分
理事	堀内 征治	市町村教育委員会連絡協議会
	須澤 眞廣	
	酒井 好和	県小学校長会
	茂木 伸一	県中学校長会
	高橋 和子	栄養教諭・学校栄養職員部会
	山崎 弘道	県PTA連合会
	柳澤 幸一	学識経験
	小林 昭人	学識経験
	清水 有二	学識経験(理事長)
	下條 年平	学識経験(専務理事)

	氏名	選出区分
監事	坂口 健之	学識経験
	内村 孝英	税理士

	氏名	選出区分
評議員	近藤 守	市町村教育委員会連絡協議会
	小澤 嘉和	
	中村 正昭	県小学校長会
	藤松 伸二郎	県中学校長会
	瀧澤 聡	県PTA連合会
	榛葉 教子	栄養教諭・学校栄養職員部会
	佐藤 正行	学識経験
	田中 みつる	学識経験
	小市 邦夫	学識経験
	小嶋 隆徳	学識経験
山岸 深志	学識経験	



# 第9回食育推進全国大会

# しあわせ信州 食育フェスタ2014

6月21日(土)、22日(日)の両日、第9回食育推進全国大会(大会テーマ=「健康長寿」は食育から～食べる、学ぶ、楽しむ“信州の食”“日本の食”～)が開催されました。

会場のエムウェーブ(長野市オリンピック記念アリーナ)には2日間で延べ27,200人が訪れ、来場者は各エリアの展示や催し物などを興味深く見てまわりました。

長野県学校給食会、栄養教諭・学校栄養職員部会、県教委保健厚生課のブースでは、体験的な催し物「はてな?ボックス」「豆つかみゲーム」「脱脂粉乳試飲コーナー」や展示紹介「学校給食の充実をめざして」「伝えたい信州の味」「見直そう信州の味」があり、親子連れ等で連日賑わいました。



## 第9回 食育推進全国大会に 寄せて

長野県教育委員会事務局



保健厚生課長

宮下 朋子

県食育推進計画(第2次)では、基本的な生活習慣や健全な食習慣の確立と健康な心身を育む時期である子どもに対する食育は、未来を担う人づくりの基本となるべきものであり、重点的に取り組むテーマに位置づけられています。

県教育委員会では、学校での食育の中核を担う栄養教諭の配置を拡充し、家庭、地域との連携を図りながら、「朝ごはんを食べよう、いっしょに食べよう食育キャンペーン」を実施するなど、朝食と共食をテーマにした食育に力を入れています。

第9回食育推進全国大会では、県学校保健会栄養教諭・学校栄養職員部会、県学校給食会と連携して、健康長寿長野県の未来を担う子どもたちの食育の重要性を訴えることを目的に、パネル展示や体験型イベント等を実施しました。

この大会を契機に、学校における食育の取組を県内外にアピールするとともに、家庭や地域に向けて朝食、共食の重要性を啓発し、学校における食育をさらに推進してまいります。

長野県学校保健会栄養教諭・学校栄養職員部会

(公財)長野県学校給食会

長野県教育委員会保健厚生課







会場風景



健康・医療エリア



調理体験エリア



地産地消・農業エリア



市町村の取組・郷土食・伝統食エリア



学校エリア



内閣府エリア



ミニステージ





# 学校の食育はおいしい給食づくりから

## おいしい給食研究会

### 設立に寄せて



おいしい給食研究会

会長 市場 祥子

今年も、栄養教諭制度がスタートして10年目を迎えます。本県の配置率は低いのですが、栄養教諭の皆さんは積極的に食育に取り組み、子どもたちの健康と成長の為に数々の成果を上げていることを嬉しく思います。

しかしその一方で、最近では学校栄養職員も含めて中だるみの感があり、中でも学校給食の献立の教材化が弱いことを指摘されるようになりました。特に食材や調理の基礎基本等の知識や技術が浅いこと、食事内容についての苦情が多いことを本当に残念に思います。

栄養教諭の職務は、「安全でおいしい給食を作り、それを教材(教科書)にして食の指導に取り組む」と言うことです。教材としてののねらいを込めた本物の味が味わえる給食でなければなりません。そこで何となくして学び直す、あるいは更に更に研修を積み重ねてほしいと考え、かつて学校の栄養士として活躍された先輩の方々の力を借りようと思いい立ちました。と言うのは、栄養教諭制度実現の機運が高まる前までは、常に「魅力あるおいしい給食はどうあるべきか」というテーマで研修会は開催され、必死で努力を重ねてきたからです。特に調理や献立の教材化に関しては筋金入りでした。そこで、食の指導の土台を充実したいとの考えから、この「おいしい給食研究会」を立ちあげることになりました。

先輩の皆さんは、今でも子どもたちへの思いに熱く提案に快諾して下さいました。又、この会の設立にあたっては、長野県学校給食会の親身なご指導とご尽力並びにご支援を頂き、寄り合う有難い思いの一つ

## 学校栄養職員として

### スタート!

### 「きゅうしよくの先生」になって



辰野町立辰野西小学校

栄養士 高橋 めぐみ

学校栄養職員・社会人としての生活がスタートしてから、2カ月近くが過ぎました。発注したものがきちんと届いているのかなど毎日不安だらけですが、周りの先生方や調理員さんの支えもあり栄養士としてのスタートを切ることができました。

4月当初は「先生」と呼ばれることに戸惑うこともありましたが、パソコンの献立ソフトの使い方がわからず仕入の計算ができなかったり、50人近くいる先生とクラス・デスクが一致せず配布物を間違えそうになったりとバタバタしていました。



「○○嫌いだけど、頑張って食べた。」「今度給食で○○出して…」などという子ども達との会話を大切に、給食を楽しみに待っている子ども達のため、美味しい給食を提供していきたいです。そして、周りの先生方や、調理員の皆さん、地域の栄養士の先輩方にたくさん学び、自分自身も栄養士として成長していきたいと思っています。





## 平成26年度「おいしい給食研究会」の活動内容

ひとつに胸が熱くなりました。感謝の気持ちで一杯です。

次代を担う子どもたちの尊い命が毎日のように失われる現代社会を、食の指導で変えたいと心より願っています。どうか栄養教諭・学校栄養職員(殆どの人は栄養教諭の資格保持者のはずです)の皆さん、心身ともに健康な長野県の子どもたちを次代に送り出すために、そして「健康長寿日本一長野」を継承するためにも、この研究会の活動(研修会)に是非参加して下さい。互いの資質を高め、子どもたちの未来に生きる学校の食の指導に一緒に取り組みましょう。

### ●研修会開催の目的

おいしい給食を作るためにはどうしたらよいか。おいしい給食を提供することによって生まれる効果を食の指導に生かし教材化につなげていく。

### ●具体的な実施内容

◇(午前)調理の基礎基本を学ぶ調理講習会

「和食を教材とした給食の献立」

◇(午後)献立の教材化について

「教材化とは」

「教材化の方法：調理実習の献立を例に具体的に考える」

◇グループワーク

・おいしい給食を作るために、また、献立を教材化していくためには自分はどこから力をつけていけばよいか明確にしておく。

### ●実施日と開催会場

◇東信地区／10月4日(土) 東御市 ◇北信地区／12月13日(土) 長野市

◇中信地区／10月18日(土) 松本市 ◇南信地区／1月17日(土) 伊那市

### ●講師及び助手

□講師／舟田寛子 横沢はま 市場祥子

□助手／堀文江 関恵子 松本栄江 田中みつる 岩根美奈子 林静子

### ●各地区担当者

(東信地区) 柳澤幸子 (北信地区) 高橋和子

(中信地区) 藤森真帆 (南信地区) 埋橋恵子

## 子どもたちに寄り添った給食を



波田学校給食センター

栄養士 松橋 美緒

波田学校給食センターに勤務して2ヶ月が経ちました。

以前勤めていたのは小さな単独校だったので、はじめは規模の違いに戸惑う毎日でした。調理員さんが大勢で、食材の量も桁違い、「釜割り」という言葉も初めて。自分の不注意が引き起こす事態の大きさにも、怖さを感じています。

安全でおいしいものを作ろうと懸命な調理員の方々、私の些細な疑問にも丁寧に答えてくださる事務室の方々を支えられて日々を過ごしています。いよいよ自分の立てた献立が実施となり、ますます気を引き締めていかなければ、と思っています。



波田センターは、小学校に併設しています。教室へ様子を見に行くと、「給食おいしいよ。」「先生、いつも何しに来るの?」と声をかけてくれます。給食時間を含め、子どもたちの様子を間近で見られる分だけ、波田の子どもたちに寄り添った給食づくりができるように勉強していきたいと思っています。





# 楽しい給食 おいしい給食

## 給食委員会の今年度の取り組み

安曇野市立穂高西小学校 6年 田村 咲優美

私たち穂高西小学校給食委員会の今年度の活動目標は、「ルールやマナーを守り、楽しく給食が食べられるようにしよう」です。この目標に向かっていろいろな活動を計画し、進めています。



4・5月には、「給食当番は、きちんと身じたくをして、ならんできてください」など、守ってほしいことを書いたポスターを作って、自分の学級と姉妹学級にはり、呼びかけをしてきました。その結果、身じたくがきちんとできる学級やマナーに気をつけて食べようとする人が増えたの

でうれしいです。このような呼びかけは、これからも続けていきたいと考えています。

6月には、身じたくチェック週間を計画しました。この週間では、チェック表を作って、身じたくがきちんとできているか、学級ごとに調べて見直してもらおうと考えて取り組みました。



11月には、「給食クイズ」をやります。全校のみんなが給食のことをもっと知り、楽しく食べられるように、この活動を計画しました。今まで知らなかったことが分かって楽しく食べられれば、残食も減ると思います。

これらの活動の他にも、給食委員会では、毎日の当番活動として、コンテナ内の整とんや牛乳ビンの片付けもやっています。いろいろな活動を通して、今年度の活動目標が達成できるように、給食委員全員で協力して取り組んでいきたいと思っています。

## ねぎ植えとお花見給食

伊那市立高遠中学校

天下第一の桜で名高い高遠公園の近くに高遠中学校があります。春には満開のタカトウコヒガンザクラの下で楽しく「お花見給食」、5月には地元の指導者の支援を受けて畑で「ねぎ植え」体験。地域の自然と豊かな風土に恵まれ、心と体を育てています。



## 飯田事務所が移転します

飯田事務所は、昭和54年に飯田出張所として飯田市高羽町に設置されて以降、昭和62年に飯田市上郷町へ移転し、平成3年には飯田支部として昇格しました。

このたび、懸案であった手狭な施設の解消や食品を扱う倉庫や冷凍冷蔵設備等の拡充のため、下伊那郡高森町に位置する高森第一工業団地に移転することになりました。

7月29日、30日に引越作業を行い、学校の夏休み明けの2学期より飯田事務所として新たな事業を展開してまいります。



【新飯田事務所】〒399-3101  
下伊那郡高森町山吹1646-7  
(高森第一工業団地)  
TEL 0265-48-6178  
FAX 0265-48-6179